

「自然と共に暮らせる町をめざして」

みなさんは雨上がりの木々や草花の香り、ウグイスやカッコウなど野鳥の鳴き声、夕暮れに聞こえるカエルの合唱等を近くで聞いたことがありますか？

幼稚園の時に経験した、落ち葉で焼いた焼き芋の味や、やかましの森を歩きながら食べたコクワの実のおいしさは今でも忘れられません。

北広島市に引っ越してくる前までは、となりの札幌市に住んでいました。そこでは夜中でも、救急車や暴走族のバイクの音等が絶えず聞こえ、窓から見える景色はカラオケハウスのネオンや、24時間やっているコンビニの明かりでした。でもそれが当たり前に感じていました。ここに引っ越してきて初めに驚いた事は、夜に車の音が一つも聞こえず、その代わり虫の鳴き声が聞こえた事です。前になぜ北広島市に引っ越してきたか聞いた事があります。母は、その時「自分の子供の頃、自然がたくさんある所で育って色々とステキな体験をしてきたので、自分の子供にも小さい頃は自然がある場所で育てようと思ったからだよ。」と教えてくれました。

北広島市にもっと多くの若い人達が引っ越してくると、町もにぎわい、年をとった人達の助けにもなり、ふれあいももっと広がっていくのではないのでしょうか？

これからも自然を残しながら自然と共に暮らし、私たちの様な小さな子供が心に残るステキな体験が出来るような町を目指してほしいと思います。